

# U.S. Indicators

米国 内外の需要拡大により製造業部門は好調(17年6月ISM製造業景気指数)

発表日：2017年7月3日(月)

～新規受注・生産が高い水準に上昇～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

## ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	57.2	64.5	57.6	58.9	49.0	55.9	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	54.8	57.5	58.6	52.0	51.0	55.1	57.0	68.5	59.5	55.5
17/05	54.9	59.5	57.1	53.5	51.5	53.1	55.0	60.5	57.5	53.5
17/06	57.8	63.5	62.4	57.2	49.0	57.0	57.0	55.0	59.5	54.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

### 製造業景気指数は57.8 と前月比2.9%ポイント 上昇

17年6月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、57.8と前月比+2.9%ポイント上昇し、製造業部門の好調さを示す水準となった(市場予想中央値55.1、筆者予想55.0)。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業が堅調さを維持していることを示している。

総合指数を構成する項目では、在庫が低下したが、新規受注、生産、雇用、入荷遅延が前月から上昇した。新規受注は、内外での増加によって上昇し、高い水準を維持しており、製造業部門が堅調さを当面維持することを示唆している。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫(前月比▲0.50%p)が押し下げ寄与となった一方で、生産(前月比+1.06%p)、新規受注(前月比+0.80%p)、入荷遅延(前月比+0.78%p)、雇用(前月比+0.74%p)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比2.9%ポイント上昇した。

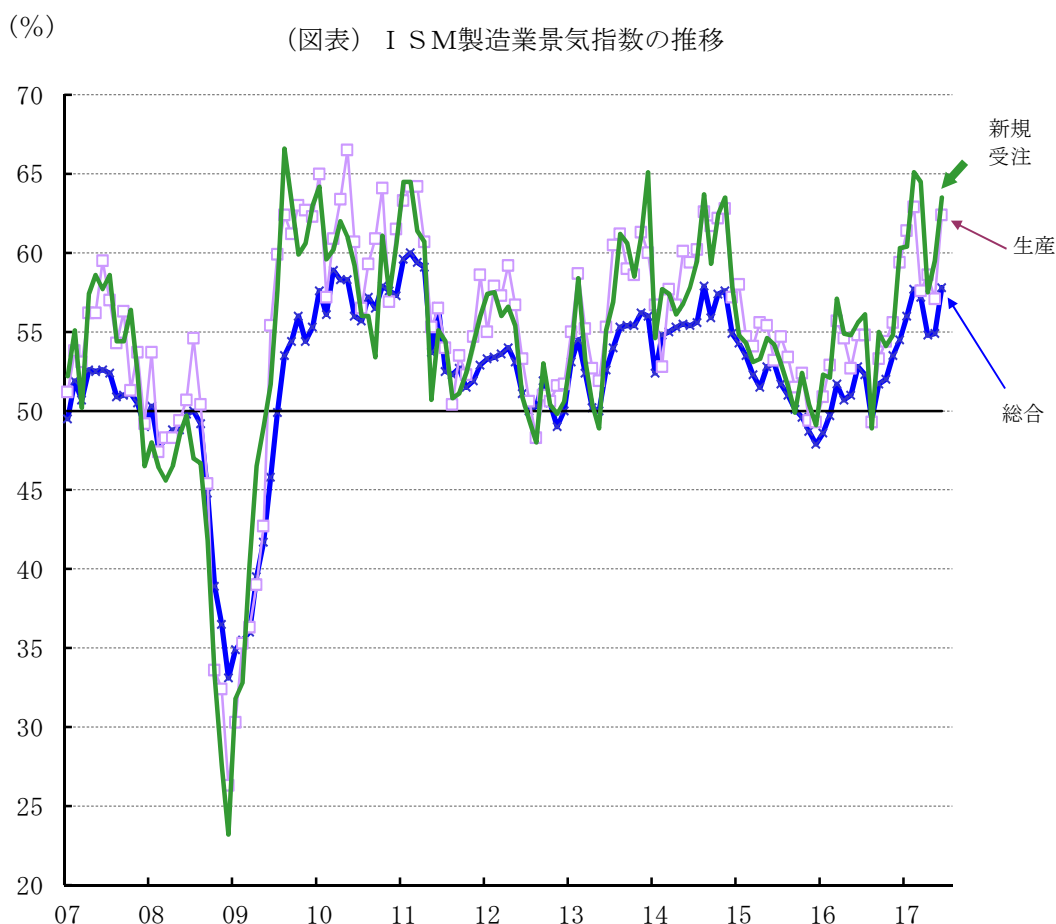
総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、家具・同関連、非鉄、紙製品、一般機械、電気設備・部品、化学製品、輸送機器、コンピューター・電子機器、食品・飲料・タバコ、プラスチック・ゴム、印刷・関連サポート活動、加工金属、木材製品、その他製造業、石油・石炭の15業種となった。前月と変わらず、引き続き多くの業種で拡大しており、製造業の拡大が広がりを見せていることを示している。一方、縮小した業種は、繊維、アパレル、一次金属の3業種と前月の2業種から増加した。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

コンタクト先からの報告は、全般的に前向きな内容だった。プラスチック・ゴムは事業環境が良好で梱包材、荷役材料などの価格が上昇していると指摘したほか、輸送機器は全体的に需要が5～7%上昇し、少なくとも年内継続すると予想していると報告された。また、電気設備・部品では需要が強くなっていることが指摘され、コンピューター・電子機器は依然需要が強く、需要に合わせて雇用を拡大していると報告。さらに、家具・同関連では事業が堅調と指摘されたほか、化学製品では世界的に改善を続けていること、一般機械では国際的に事業環境が上向いていること、食品・飲料・タバコでは内外で需要が強いことが報告された。

**製造業景気指数はドル高の影響等により緩やかな拡大を示す水準で推移する公算**

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が再加速しているほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートが米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高い水準に止まると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、製造業の緩やかな拡大を示す水準で推移すると予想される。



(出所) ISMデータより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。